

令和5年度 県人会担い手育成事業(招へい) 報告書

期間/令和5年7月7日(金)～18日(火)



主催/福岡県

実施/公益財団法人福岡県国際交流センター

目 次

| | |
|-------------------------|-------|
| ・ 概要 | 1 |
| ・ 参加者名簿 | 2 |
| ・ 全体プログラム日程 | 3 |
| ・ プログラム内容 | 4～13 |
| ・ 参加者の感想 | 14 |
| ・ 参加者レポート／子弟 | 15～21 |
| ・ 参加者レポート／青年リーダー | 22～27 |
| ・ 参加者レポート／福岡県移住者子弟県費留学生 | 28～31 |

概 要

1 目的

海外福岡県人会会員の子弟を福岡県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図ること。

2 期間

令和5年7月7日（金）～18日（火）

3 招へい者人数

5か国16名 【内 訳】 子弟10名、青年リーダー6名

| 国 名 | 子弟者数 | 青年リーダー数 |
|-------|------|---------|
| ブラジル | 4 | 2 |
| コロンビア | 1 | 1 |
| アメリカ | 1 | 1 |
| ペルー | 1 | 1 |
| パラグアイ | 3 | 1 |
| 合 計 | 10 | 6 |

4 実施項目・内容

(1) 同年代の子どもたちとの交流

宗像市立南郷小学校、福岡市立那珂小学校、宗像市内の小学生との交流

(2) 福岡の魅力に触れる

太宰府天満宮、福岡タワー、小倉城、博多祇園山笠集団山見せ見学

(3) ルーツを探る

親戚宅、知人宅、家族会会員、ボランティア宅へのホームステイ

(4) 日本文化の体験

うちわ作り体験、浴衣着付体験 等

5 主催／福岡県

実施／公益財団法人福岡県国際交流センター

共催／宗像市（7月8日、7月17日のみ）

参加者名簿

【参加者】 5か国7県人会から子弟10名、青年リーダー6名が参加しました。

| No. | 県人会名 | 子弟 リーダー | 氏名 | 国名 |
|-----|---------------|------------|-----------------|-------|
| 1 | ブラジル福岡県人会 | 子弟 | 多田 丸林 カタリナ 夏紀 | ブラジル |
| 2 | | | 菅木 エンゾ 純 | |
| 3 | | | 石井 ジョバニ けんじ | |
| 4 | | リーダー | 横尾 ロナウド 謙児 | |
| 5 | トメアスー福岡県人会 | 子弟 | 稲田 愛桜 | |
| 6 | | リーダー | 稲田 樋口 ナージャ 美穂 | |
| 7 | コロンビア福岡県人会 | 子弟 | 宮田 マーフィー サラ 由美子 | コロンビア |
| 8 | | リーダー | 板橋 マリア エミ | |
| 9 | 南加福岡県人会 | 子弟 | 川田 蔵之介 ルーク | アメリカ |
| 10 | シアトル・タコマ福岡県人会 | リーダー | スナイダー アンドリュウ 涼 | |
| 11 | ペルー福岡県人会 | 子弟 | 坂口 スエミ | ペルー |
| 12 | | リーダー | 竹下 ケニー | |
| 13 | パラグアイ福岡県人会 | 子弟 | ペソア 洪翔 | パラグアイ |
| 14 | | | 鬼塚 怜美 | |
| 15 | | | 塚本 きらり | |
| 16 | | リーダー | 北川 彩 | |

【福岡県移住者子弟留学生】

| No | 県人会名 | 氏名 | 国名 |
|----|-------------|----------------|--------|
| 1 | ブラジル福岡県人会 | 渋谷 フェルナンダ えりか | ブラジル |
| 2 | パラグアイ福岡県人会 | 淵脇 健 | パラグアイ |
| 3 | パラグアイ福岡県人会 | 熊谷 山本 マルガリタ 春花 | パラグアイ |
| 4 | アルゼンチン福岡県人会 | 津留 ミカエラ | アルゼンチン |
| 5 | メキシコ福岡県人会 | 田中 ゴメス 愛子 | メキシコ |
| 6 | ペルー福岡県人会 | 手嶋 儀武 さゆり ナンシー | ペルー |

「福岡県移住者子弟留学生とは」・・・

専門の知識と、日本、そして福岡県についての理解を深めるために、福岡県内の大学に1年間留学している海外福岡県人会の子弟。

全体プログラム日程

| 期 日 | 時 間 | 内 容 | 宿泊場所 |
|----------|-----|------------------------|---------------|
| 7/7 (金) | 終 日 | 入国 | グローバル アリーナ |
| 7/8 (土) | 午 前 | オリエンテーション | |
| | 午 後 | 宗像市内小学生との交流（オンラインにて実施） | |
| 7/9 (日) | 午 前 | スペース LABO 見学 | |
| | 午 後 | ジ・アウトレット北九州見学 | |
| | | 小倉城見学 | |
| 7/10 (月) | 午 前 | TECH PARK にてプログラミング体験 | |
| | 午 後 | 小学校交流準備 | |
| 7/11 (火) | 午 前 | 太宰府天満宮見学 | |
| | 午 後 | 宗像市立南郷小学校との交流 | |
| | | ドン・キホーテ視察 | |
| 7/12 (水) | 終 日 | 福岡市立那珂小学校との交流 | |
| | | ららぽーと福岡見学 | |
| 7/13 (木) | 午 前 | 福岡タワー見学、福岡市民防災センター見学 | |
| | 午 後 | 博多祇園山笠集団山見せ見学 | |
| 7/14 (金) | 午 前 | 八女伝統工芸館、八女中央大茶園見学 | ホーム ステイ |
| | 午 後 | 福岡県国際交流センター表敬 | |
| | | ホストファミリーとの対面式 | |
| 7/15 (土) | 終 日 | ホストファミリーとの交流 | |
| 7/16 (日) | 終 日 | ホストファミリーとの交流 | |
| 7/17 (月) | 午 前 | ホストファミリーとの交流 | グローバル アリーナ |
| | 午 後 | 送別会 | |
| | | 宗像市内小学生との交流（対面にて実施） | |
| 7/18 (火) | 午 前 | 出国 | |

プログラム内容

| | |
|-------------|---|
| 7月7日 (金) | <p style="text-align: center;">◎入国</p> <p>5か国(ブラジル・コロンビア・アメリカ・ペルー・パラグアイ)から子弟10名、青年リーダー6名が来福し、センター職員や家族会会員が出迎えました。</p> <div data-bbox="405 481 1382 750"></div> |
| | <p style="text-align: center;">◎オリエンテーション</p> <p>福岡県国際交流センター元永事務局長からの歓迎の挨拶、スタッフ紹介の後、プログラムの趣旨や参加の心得、スケジュールの説明に加えて、参加者が自己紹介をしました。</p> <div data-bbox="405 920 1430 1189"></div> <p style="text-align: center;">◎歓迎会</p> <p>ホストファミリーや家族会会員をお迎えしての食事会を予定していましたが、大雨の影響により、子弟、青年リーダー、県費留学生およびセンター関係者のみでの開催となりました。子弟も青年リーダーも国籍を超えて仲を深めていました。</p> <div data-bbox="405 1391 1182 1675"></div> |

◎宗像市内小学生との交流

宗像市内に住む小学生との対面の交流イベントを予定していましたが、大雨の影響でオンラインでの開催に変更となりました。子弟が出身国についてのクイズを出したり、絵描きしりとりをしたりと、日本の小学生と楽しく交流しました。オンライン交流会終了後、けん玉体験や、県費留学生による浴衣の着付け体験を行いました。

7月8日
(土)



◎スペース LABO 見学

この日から福岡県内視察が始まりました。北九州市を訪れ、まずはスペース LABO を見学しました。プラネタリウムや、科学に関する様々な展示・体験を楽しみました。

7月9日
(日)



◎ジ・アウトレット北九州見学

スペース LABO と同じ敷地内にあるアウトレットモールを見学しました。まずフードコートでグループに分かれて昼食を取り、その後各自買い物やゲームを楽しみました。次の目的地である小倉城へ向かうため、最寄りの JR スペースワールド駅から電車に乗りました。今回初めて日本の電車に乗る子どもが多く、約10分間の乗車時間でしたが、とても楽しんでいる様子でした。



◎小倉城見学

7月9日
(日)

JR 西小倉駅から徒歩で小倉城へ向かいました。小倉城の周りのお堀を見学した後、城内の展示室で福岡の歴史について学びました。子どもたちが流鏝馬(やぶさめ)や駕籠(かご)の体験コーナーで楽しんでいる様子が印象的でした。



◎TECH PARK にてプログラミング体験

大雨の影響により、午前中の太宰府天満宮の視察が延期、午後の県庁・議会表敬が中止となりました。雨が落ち着くまで宿泊先のグローバルアリーナで待機し、グローバルアリーナから直接 TECH PARK へ向かいました。

TECH PARK では、3時間のプログラミング体験を行いました。子どもたちは講師から日本語で説明を聞き、青年リーダーと県費留学生のサポートを受けながらプログラミングを完成させることができました。プログラミングで作成したデザインをプリントしたコースターは記念に持ち帰ることができました。



7月10日
(月)

◎小学校交流準備

県内の小学校交流での発表に向け、事前に準備していた写真や資料を使って、国や地域を紹介するポスターを作成しました。子どもたちは青年リーダーや県費留学生にサポートしてもらいながら、ポスターの作成および日本語での発表の練習に真剣に取り組んでいました。



◎太宰府天満宮見学

太宰府天満宮では、参道のお土産店で買い物をしたり、かき氷や梅が枝餅を食べたりして楽しみました。子どもたちからは、お守りを買ったことや、手を叩いてお参りしたことが初めてで面白かったという声が上がっていました。



◎宗像市立南郷小学校との交流

南郷小学校では、南加、コロンビア、ブラジルの子弟がそれぞれの国や地域についての発表を行いました。その後、ボランティアの方々や小学生からけん玉やおはじき、折り紙などの日本の昔遊びを教えてもらい、楽しく交流しました。

7月11日
(火)



◎福岡市立那珂小学校との交流

5クラスに分かれて、4年生と交流しました。まず、体育館では花のアーチで出迎えてもらい、歌や踊りの歓迎を受けました。各クラスに分かれてからは、母国の紹介を行った後、日本の昔遊びや文化(お手玉、けん玉、だるま落とし、折り紙、書道)を体験しました。その後、給食と掃除を体験し、母国と異なる日本の小学校の生活を学ぶことができました。



7月12日
(水)

◎ららぽーと福岡見学

那珂小学校から徒歩でららぽーと福岡へ向かいました。屋外にあるガンダム像の前で集合写真を撮った後、ショッピングモール内では、各自買い物を楽しみました。



◎福岡タワー見学、福岡市民防災センター見学

福岡タワーでは、展望室から福岡市内の街並みや海を見たり、写真を撮ったりして楽しんでいました。福岡市民防災センターでは、火災時のVR体験や消火体験、地震体験を通して、災害時において、命を守るためにどのように行動すればよいかを学ぶことができました。



7月13日
(木)



◎博多祇園山笠集団山見せ見学

アクロス福岡の前から集団山見せを見学しました。子どもたちは山車の豪華さや、参加者の掛け声に圧倒されている様子でした。



◎八女伝統工芸館、八女中央大茶園見学

筑後地域の視察では、まず八女伝統工芸館で手漉き和紙のうちわ作り体験をしました。自由に押し花や色紙を飾り、自分だけのデザインのうちわを作ることができました。昼食は八女べんがら村でとんかつ定食を食べ、和食を味わいました。最後に八女中央大茶園に向かい、有明海や島原半島まで見ることができる展望所から大茶園の景色を楽しみました。



7月14日
(金)

◎(公財)福岡県国際交流センター表敬

(公財)福岡県国際交流センターの元永事務局長を表敬訪問しました。一人ずつ日本語で自己紹介をした後、記念品贈呈を行いました。表敬後は、ホストファミリーとの対面式を行い、他の参加者と別れてそれぞれのホームステイ先へ向かいました。



◎送別会

ホストファミリーと県家族会役員、県関係者が参加しました。7月10日に予定していた県庁・議会表敬が大雨の影響で中止となったため、送別会にて副知事及び議長からの記念品と各県人会からの記念品交換を行いました。その後は食事をしながらホストファミリーと過ごす最後の時間を楽しみました。



◎宗像市内の小学生との交流

7月 17日
(月)

大雨の影響で7月8日に予定していた小学生との交流がオンライン開催となったため、予定を追加し対面での交流会を開催することになりました。福岡教育大学の国際交流サークル「KIZUNA」の協力により、夏祭りをテーマに射的、ヨーヨー釣り、輪投げ等の遊びを宗像市内の小学生と一緒に体験しました。また、パラグアイとメキシコの県費留学生より、それぞれの国で有名な遊びを紹介してもらい、子どもたちは遊びを通じて楽しく国際交流をすることができました。



◎出国

早朝5時にグローバルアリーナを出発し、福岡空港に向かいました。参加者は県家族会役員、県費留学生から見送りを受けた後、全員無事に帰国しました。

7月18日
(火)



参加者の感想

アンケート抜粋

【子弟からの感想】

- ・この経験はとても素晴らしく、食べ物は美味しくて全てのプログラムで訪問した場所はとても好きでした。一番びっくりしたのは日本のトイレの便器のボタンの数です。自分の国にはないので別世界のような感じでした。
- ・とてもアクティビティが好きです。要望はもっと日本語の勉強が出来るように授業を受けて、みんなの日本語を上達させてほしいです。
- ・福岡タワーが一番思い出に残りました。
- ・(小倉城で) 色々なものを見たり、やぶさめの体験をするのが楽しかった。
- ・全部楽しかったです。とてもいい経験でしたので、忘れられないです。
- ・この素敵な経験がまたできれば嬉しいです。アメリカと南米の人に会いたいです。将来福岡にまた来て、何が変わったのかを見たいです。
- ・福岡市民防災センターやプラネタリウム、食べ物やホームステイがとても大好きでした。
- ・福岡に来てとても嬉しいです。友達もいっぱいできてとても良かったです。また福岡に行きたいです。
- ・ドン・キホーテでの買い物は楽しかったです。お菓子をたくさん買ったり、巨大な水鉄砲を見たりすることができました。
- ・福岡市民防災センターが楽しかったです。

【リーダーからの感想】

- ・プラネタリウムを見る機会があったのは素晴らしかったです。子どもたちはたくさんのことを学びましたし、福岡の景色も描かれていたので、子どもにとっては目が開かれたと思います。
- ・太宰府天満宮は、お店も素敵でしたし、天満宮での正しい祈り方を子弟に教えることができました。天満宮で何をすべきかを示すガイド付きイベントができたらいいと思います。
- ・(那珂小学校での交流が) 最も重要だったと思います。教室を見て、生徒たちと一緒に過ごすことでたくさんことを学びました。
- ・給食を一緒に取る経験が新鮮だった。
- ・(センター表敬で) お土産を渡せて良かったと思います。そして家族会のみなさん、国際交流センターのみなさんにも会って本当に良かったと思います。
- ・(プログラムの内容で一番思い出に残ったことについて) 日本文化と会うことが出来て、大好きです。子どもと遊んでかわいかったです。
- ・子どもたちと共有したり、いろんな経験をしたり、文化と福岡のいろんな町を知ったり、子どもたちみんな一緒に過ごせて嬉しかったです。この経験はとても素敵だと思います。
- ・今回のツアーや訪問した場所にはガイドを付けていろんな説明をするか、みんな一緒にツアーが出来たらいいと思いました。
- ・日本の災害の体験はとても興味深くて、自分の国にはこういう災害がなく、シミュレーションは面白かった。

参加者レポート

子弟



ブラジル福岡県人会
多田 丸林 カタリナ 夏紀
Tada Marubayashi Catarina Natsuki

「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本の日常の習慣がどのようなものかを見ました。新しい遊びもおぼえたし、地震や火事などの時にどうすればいいのかもなりました。

買い物するときに物の値段、本当に欲しい物なのかとか、店で過ごす時間についていろいろおぼえました。

うちわ作り、福岡タワー、おいしい食べ物、学校の皆さんの発表もぜんぶ楽しい思い出になりました。そして、おじいちゃんのふるさと見ることができてうれしかったです。

少し独立して、責任感をもつことを覚えたと思います。

～親御さんからのメッセージ～

夏紀は自分の活動にさらに集中して戻ってきました。また、さまざまな背景を持つ他の国の人々と出会うことも楽しみました。この機会に、日本文化はもちろん、いろんなカルチャーに触れた事がとてもよかったです。また日本語もすこしよくなったようです。外国旅行をもっとしたいという気持ちが強くなりました。これで世の中にたいしての興味が深まってほしいと、親としてねがいます。

夏紀はこのプログラムに参加して、いろいろな経験をしました。これは夏紀にとって日本と福岡との絆を強化する素晴らしい機会でした。この機会を与えてくださったこのプログラムに関わった皆様に感謝いたします。



ブラジル福岡県人会
菅木 エンゾ 純
Sugaki Enzo Jun

「プログラムで得たこと・学んだこと」

今回の子弟招へいプログラムに参加できて、とても感謝しています。初めての海外旅行、初めての日本訪問、初めての体験が数多く、貴重な経験となりました。福岡県名所見学では、Space Labo が一番面白かったです。プラネタリウムは本当にきれいでした。また、いろいろな国の子どもと友だちになれて、よかったです。言葉が通じなくても、コミュニケーションが取れることがわかりました。それから、福岡の親戚に初めて会うことができ、自分のルーツを知り、親戚と仲良くなれたことは何よりです。会話は英語と日本語を使って行いましたが、日本語を勉強してよかったと思いました。これからも、もっともっと日本語を勉強して、日本へ留学したいです。お世話になった福岡県人会や国際交流センターの皆様、ホームステイの親戚や訪問した学校の先生や生徒、家族会や留学生の皆様、リーダーの皆様、本当にありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

息子の純は一人っ子なので、今回のプログラムに参加して、貴重な経験ができました。10日間も家族と離れて過ごすのは初めてだったので、自分でできることや家族の有難さなどがわかったと思います。また、ブラジルや外国の新しい友達もできて、日本の親戚とも仲良くできて、素敵な絆ができたと思います。帰国後、純の物事に対する責任感や日本語学習への姿勢がよくなりました。それから、日本文化や歴史などについての興味も深まりました。この素敵な事業のお陰です。最後になりましたが、福岡県人会、国際交流センター、ホストファミリー、関係者の皆様へ感謝の言葉をお送りいたします。大変お世話になり、本当にありがとうございました。



ブラジル福岡県人会
石井 ジョバニ けんじ
Ishii Giovanni Kenji

「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムに参加できて、たくさん新しいけいけんができました。いろいろな国の子供と友達になれて、こうりゆうができました。日本人のしゅうかん、そしてしんせつさに感動しました。朝、パンじゃなくて白ごはん、みそしるとなっとうを食べることがいんしょうにのこりました。食べ物は何でも全部うまかったです。

観光は福岡タワーにのぼって、町全体を上から見る事ができて、とてもいんしょうに残りました。ホームステイの三日間もとくべつ楽しかったです。初めて出会った皆様でしたが、いい思い出がたくさんできました。国際交流センターの皆様、福岡県の皆様、家族会の皆様、ホストファミリーの皆様にとっても感謝申し上げます。これから、もっと日本語を勉強して、また福岡県と日本のいろいろな場所を見物したいと思います。

ありがとうございました！

～親御さんからのメッセージ～

何となく息子が帰国して少しは大人っぽくなった感じがします。初めての一人旅で親として緊張しましたが、ぜんぜん平気で困ることもなく、寂しくこともなく、とても楽しかったと彼は何回も言っています。また日本へ行くために、もっと日本語を学ぶ気持ちは確かに明らかです。

ブラジル福岡県人会と福岡県の皆様は私の家族にこの素晴らしい機会を与えていただき誠に感謝申し上げます。



トメアスー福岡県人会
稲田 愛桜
Inada Aira

「プログラムで得たこと・学んだこと」

福岡でいろいろなところに見学につれて行っていただきましたが、一番心に残っているのは福岡タワーです。私の住むブラジルのトメアスーには高い建物がなく、5階建てくらいまでの建物しかありません。なので、高いタワーに上るのにもドキドキワクワクしました。上から見た景色はとてもきれいでした。私には福岡県からブラジルに移住した曾祖母がいます。私が小さい時から『ひいばあちゃんは福岡の山のほうに住んでいたのよ。家は農家で、山でたけのこやみかんをとって、朝3時に起きてリヤカーでしゅっかしていたのよ。』と話してくれていました。福岡タワーからたくさんの山が見えたので「もしかしたら、ひいばあちゃんが話していた場所はここなのかな？」なんて考えながら見ていました。私には、福岡で生まれた曾祖母や祖母がいるので、こうやって子弟招へいプログラムに参加することができました。初めて福岡に行って、知らないことだらけだったので、これからはもっと福岡のことを勉強していかなければいけないなあと思いました。

福岡では、食べてみたかった「めんたいこ」を白いふわふわご飯と食べられたし、電車に乗ることも経験できました。有名な祇園山笠のお祭りや歴史のある場所の見学もできました。でも私は、まだその場所の歴史や意味がわからなかったり、展示の説明書きの漢字が読めなかったりしました。もっと日本語や文化のことを自分から学ぼうと思いました。

私たちのことを青年リーダーの人と一緒に、留学生の方々も一緒にお世話してくれました。一生懸命にお手伝いしてくれたり、やさしくお話しをしてくれたりして「ステキだな～。いつか私も留学生として福岡で勉強して、お世話ができる人になりたい」と思いました。国際交流センターの村井さんやワンさんも「愛桜ちゃん、今度は留学生としてまた福岡にきてね♡」とってくださいました。これからがんばって勉強を続けたら、チャンスがあると強く思いました。

私には福岡で生まれて、今も福岡が大好きで、ブラジルに来て70年たった今でも、福岡のことを話してくれ

る曾祖母が近くにいます。今度は私が福岡の新しいことを覚えてお話しできたらいいな～と思っています。ほんとうに福岡に行けて良かったです。ありがとうございました。また留学生として行けるようにがんばります。

～親御さんからのメッセージ～

親元を離れての長距離のプログラム、しかも遠く離れた日本へ……。出発前は、親子ともどもドキドキしておりましたが、そんな心配がうそのように、娘は生き活きと楽しい日程を過ごすことができ「あっという間だった」と話しております。親である私は、時差が12時間あるブラジルで「何かあったときに連絡が来るかも」と携帯電話を気にして、寝不足の11日間でした。

愛桜は今まで「日本に行くことが目標」で、日本語学校で日本語を勉強し、日本語能力試験にも取り組んできました。なので、子弟招へいプログラムに参加が決定し、日本に行くことができた後はどうなるのだろうか……。と、内心心配もありました。ですが、今回プログラムに参加させていただき、愛桜の中で新たな目標ができたようです。「これからもっと日本語を勉強して、県費留学生としてまた福岡に行きたい！」と。このような目標を作ることができたのは、今回支えてくださった福岡県をはじめ、国際交流センターの皆様のご親切な対応や、お声掛け。青年リーダーや各国の子どもたち。寝食を共にし、応援してくださった留学生の皆さんのお陰です。ホームステイ先では、心温まるバーベキューでの歓迎会。行って見たかった水族館や回転ずし屋さんなど、本当に思い出に残る経験をさせていただきました。福岡県がルーツにあることの意識を改めて持つことができ、次なる目標へ向かって頑張る気持ちが芽生えたようです。皆様に心より感謝申し上げます。今後の県人会の活性化につながるよう、親子で今後何ができるか考えていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



コロンビア福岡県人会
宮田 マーフィ サラ 由美子
Miyata Murphy Sarah Yumiko

「プログラムで得たこと・学んだこと」

この旅行は私にとって忘れられないものになりました。両親や親戚なしで外国に行くのを初めてだったので、難しいこともありました。他の国から来た日系人の子供たちと会うのがとても楽しかったので、今後も彼らと連絡を取り合いたいと思っています。彼らと一緒にいるのは本当に楽しかったですが、一緒に暮らすことが時には難しいこともあるということも学びました。

美しい場所を知ることができ、そしてそこに行ったことは今でも夢のようです。私には日本がとても美しく思いました。こんなに整理されていて清潔な場所を見たことがありません。出会った人の皆様は、私にとっても親切でした。グローバルアリーナはとてもきれいで、温泉とお菓子やアイスクリーム屋さんがとても気に入りました。

福岡市民防災センターに行ってとてもよかったです。消防訓練や地震訓練もとても印象的でした。福岡タワーも大好きでした。そこから見るとすべてがとても素晴らしく見えました。日本の学校の様子を見るのがとても好きでした。コロンビアとは全然違います！子どもたちは非常にきちんとしていて、責任感を持って学校の世話をしています。

叔父の倉富夫妻のことを知らなかったので、ホームステイはとても楽しかったです。またお会いできるのを楽しみにしています！

私に日本を訪問する機会を与えてくださった福岡県人会にとっても感謝しています。今では日系人であることにもっと感謝しており、先祖たちの日本文化をより身近に感じています。何度も福岡に来て、できれば日本に留学したいと思っています。

～親御さんからのメッセージ～

この旅行はサラちゃんにとってとても意味のあるものでした。旅行前は漫画やアニメに興味がありましたが、今では日本に関するあらゆることに興味を持っています。彼女はそれがとても好きで、すべての活動に熱心に参加したと述べました。彼女は日本についてよく話し、すべてをととても前向きに覚えており、いつか戻ってきて福岡に住むことを楽しみにしています。

サラちゃんは、次に福岡に戻ったときにもっとうまくコミュニケーションできるように、日本語のクラスを続けます。今、彼女は日系人であることをとても誇りに思っており、コロンビアの日本人コミュニティのあらゆる活動に参加したいと考えています。

サラちゃんに日本を知り、他の日系の子供たちと出会う素晴らしい機会を与えてくれた福岡県人会にととても感謝しています。この経験により彼女の視点は変わり、将来は祖父母の文化に近づき、日本に留学するという目標を持つようになりました。アクロス福岡の皆様をととても親切に扱い、滞在中に忘れられない経験にしてくれた方々に感謝申し上げます。



南加福岡県人会
川田 蔵之介 ルーク
Kawata Kuranosuke Luke

「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕は福岡で沢山の楽しいこと興味深いことを学びました。

日本の祭りはとても創作的でおもしろかったです。特に祇園山笠のお祭りはすごくてびっくりしました。アメリカではお祭りに行っても全く違うので、ととても暑くても沢山汗をかいても、水にぬれても全く気にならず、すごく楽しかったです。

次に、小倉城に行ったことで歴史的な建物がとても美しく、きれいに管理されていることに驚きました。大きいお城にびっくりしたのと、昔このお城を人間が作ったことにもびっくりしました。

～親御さんからのメッセージ～

実は蔵之介は今回の参加以前に日本には行ったことがありませんでした。

しかも、友人はアメリカ人が多いせいもあり、日本や日本語についても特に興味を持たずにいました。ですが、帰国してから日本での経験や実際に目にした建物の印象や感動から、大変日本について興味を持ち始めました。どれだけテレビや口で伝えるよりも、実際に行ったことで大変に素晴らしい経験ができたこと、本当に感謝しております。なんと、みなさんで小倉城に行ったあと、私の両親にもまた連れて行ってもらったようです。まさか、お城に興味を持つと思っていなかったの、私としまでも驚きでした。



ペルー福岡県人会
坂口 スエミ
Sakaguchi Suemi

「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムに参加して、とてもよかったです。さまざまな国からの友達ができ、友達と私の街のことについて話したり、友達も自分の国や町のことを教えてくれたりしていました。家から遠く離れた美しい国に旅行できて、福岡の人気のある場所のいくつかを訪れることができ、私の国とはまったく異なる文化を知り、福岡の学生と共有し、私たちの国に関する情報を共有することができました。プログラムはあっという間に過ぎてしまい、まだもう少し良かったです。

本当に勉強になり、すてきな経験でした。一生忘れません。どうもありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

スエミは帰ってきてから、もっとおしゃべりすることになりました。ペルーで改善できる点に疑問を抱き始めています。スエミはまた、福岡での経験を非常に詳細に説明し、これまで以上に日本のこと好きになり、戻ってきてからよりコミュニケーションがとっています。また福岡に戻りたいです。

とても感謝しています。ありがとうございました。



パラグアイ福岡県人会
ペソア 洪翔
Pessoa Hiroto

「プログラムで得たこと・学んだこと」

この旅はぼくにとって最高の経験でした。

①すごいと思ったこと

- ・福岡の街はとてもきれいなこと
- ・太宰府天満宮や小倉城でサムライの人形がいたりして、昔の日本を感じる事ができたこと
- ・日本では、地震がきても、建物が倒れない工夫がされていること
- ・交流センターの方々や、街のレストランの人など、日本の人々は、とてもていねいで、笑顔で優しくいつも接してくれること

②驚いたこと

- ・防災センターで初めて地震の経験ができたこと
- ・小学校の生徒たちは、とても礼儀正しくて、自分たちで給食の準備をし、その後そうじをきれいにすること
- ・大浴場で大勢で裸でお風呂に入る習慣があること

③体験できてよかったこと

- ・けん玉、ゆかたの着付け、うちわ作り、山笠・福岡タワー見学

④嬉しかったこと

- ・祖父母に会えて、汽車にのったり、トランプをしたり、一緒にたくさん笑って過ごせたこと
- ・おすし、焼き肉、博多ラーメン、たこ焼が食べれたこと
- ・遊園地でジェットコースターに何度ものって遊べたこと
- ・小学校で無事にパラグアイについてのプレゼンテーションができたこと
- ・自分でお金を管理して、自動販売機やショッピングのお店で自分で選択して、お金を使う経験ができたこと
- ・パラグアイの県費留学生がすごくお世話をしてくれ、少しホームシックになったぼくを、やさしく励まし、いつも側で支えてくれたこと

今回は「日本語」を中心として、様々な国の人たちが、ひとつになれる機会がある事にとっても感動しました。この素晴らしいプログラムのおかげで、これからも日本語の勉強を続けていこうと思えました。ぼくは「福岡が大好き」になりました。もっと勉強をがんばって、県費留学生として、又、福岡にもどってきたいです。本当にありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

まず、福岡県国際交流センターの皆様、このような機会を与えていただき、深く感謝申し上げます。息子ひろとは以前より、自立心が芽生え、自分の時間や勉強、行動に責任をもつようになったと感じます。

又、多くの日本人の方々の優しさに触れ、日本人の助け合う姿が心に強く残ったようで、今まで以上に人に対して思いやる行動、困っている人へのやさしい声かけができるようになっており、息子がひとまわり大きく成長した事を感じます。又、県費留学生の中でも、特に健さん・春花さんの手厚いお世話にとっても感動し、自身も県費留学生になれるように頑張りたいという想いが目覚めたようです。

今後、パラグアイ福岡県人会に貢献し、将来には福岡県にも恩返しができるれば、大変嬉しいと思っています。本当にありがとうございました。



パラグアイ福岡県人会
鬼塚 怜美
Onitsuka Remi

「プログラムで得たこと・学んだこと」

7月5日、お友達の塚本きらりちゃん、北川さやかさんとペソアひろくとくと日本一福岡県へ向かって飛行機で出発しました。はじめて、家族から離れ、パラグアイを立て、途中でさみしかったけれども、日本へ着くと、毎日が楽しかったです。

福岡県の小学生との交流、小倉城見学、地震の体験、福岡タワー見学、ショッピングモールなど、いろんなところへつれていってもらいました。日本は、数え切れないほどたくさんかわいいものがあり、食べるものは全ておいしかったです。

他の国の人達とも、友達になれました。とてもいい思い出ができ、こんなすばらしい経験を与えてもらい、福岡県人会には感謝しています。ありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

福岡県国際交流センターの皆様、並びに福岡県人会の皆様、この度は、娘がたいへんお世話になりました。

初めての親離れ、一人旅だったので、日本へ着くまではとても心配でした。でも、日本へ着いたとの連絡をもらった時は、何故か不思議と、個人的には日本へ行った経験はないけれども、安心しました。このきっかけで、日本の人とも、もっと近づけた気がします。着いた一日目から帰る最後の日まで、忙しい中、子供たちの御世話をしていただき、そして、こんな素晴らしい思い出を、娘に与えていただき、本当にありがとうございました。



パラグアイ福岡県人会
塚本 きらり
Tsukamoto Kirari

「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本行きが決まった時嬉しかったです。出発日まで飛行機が落ちないかな？お父さん、お母さんいなくて大丈夫かな？と、思っていました。日本に着いて、凄く遠い所に来たなあ、と思いました。日本では、交通面、安全面、建物と、パラグアイと比べて凄くと思いました。

*親戚の家にホームステイしたこと。

色々な所に連れて行ってもらい、楽しかったです。家で、おばあちゃんが作ってくれたご飯がとっても美味しかったです。福岡市民防災センターでは色々な事を学びました、火事の中で困っている人がいたら助けたいと思いました。もっと、大きくなって、いっぱい勉強して、また日本に行きたいと思います。

この機会をくれた福岡県国際交流センターの皆様、お世話になった親族の皆様には感謝しかありません。本当にありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

福岡県国際交流センターの皆様、娘が大変お世話になりました。

娘は出発の前の日まで怖い、行きたくないと言っていました。帰ってきてからは、又、日本に行きたいと言っています。日本では素晴らしい経験をしてきたと思います。日本の文化、日本の小学校の生徒との交流、他国の子弟との交流、日本という国の素晴らしさ。娘にとってはかけがえのない経験だったと思います。

ホームステイ先の親族の方々にも凄くよくしてもらい感謝しかありません。

この機会を与えて下さった、福岡県人会、国際交流センターの皆様、本当にありがとうございました。

参加者レポート

青年リーダー



ブラジル福岡県人会
横尾 ロナルド 謙児
Yokoo Ronaldo Kenji

私が初めて日本を訪れたのは、ちょうど10年前、県費留学生として九州大学へ留学し、福岡に1年間滞在した時でした。今回は、子弟招へい事業の青年リーダーとして、子供たちのプログラムのリーダーとして私の祖先の郷土へ戻りました。

留学生時代にこのプログラムを一度経験していたので、スムーズだと思っていましたが、責任や準備には想像以上に大変でした。人様の子供の責任を持つことは、今回のプログラムを経験して、いかに重大か、プレッシャーを受けました。

日本の天候はプログラミングを妨げましたが、予定どおりにほぼ計画を達成することができました。プラネタリウムがあるスペースラボを見学でき、空の星を区別することを学びました。残念ながら説明が北半球に住む人々のためのものであったため、私たちブラジルではが見ることができない天体が残念でした。その後、電車に乗って小倉城へ行き、子供のような気持ちで楽しかったです。

TechPark にも行って、プログラミングで絵を描くことを学びました。プログラミングの経験を持つ私でも覚えやすく、子供でも簡単に学ぶことができました。彼らがプログラミングのベースを理解してくれば幸いです。

小学校への訪問ではブラジルについて発表し、私たちのために準備された活動で交流することができました。那珂小学校では、一日の一部を生徒たちと過ごし、日本の小学校の授業を体験することができました。

また、福岡市全体を見渡せる福岡タワーや、水泳の世界選手権大会が開催されている場所も見学してきました。昼食後すぐに福岡市民防災センターに行き、何かが起こった場合の予防策と、全員が期待していた、地震の体験もしました。いつ止まるか分からない地震を想像するのは怖いです。

午後は大きな祇園山笠集団を見学しました、運よくその日はすべての山笠を見ることができました。5歳以下の子供たちが頑張っているのを見るのはとてもかわいかったです。

最終日は和紙を使った伝統的な方法の扇子作りを体験しました。私はまだ留学生の時作った扇子を持っており、この新しい扇子でペアになりました。私は大事に保管しておくつもりです。その後、有名な八女茶園を訪れました。その後、福岡県国際交流センターに向けて出発し、各自ホストファミリーとの対面があり、日本の生活について少し学ぶことができました。

私が対面したのは米作り農家の関さんでした。収穫したての日本米を食べた時の経験は忘れることができません。ほかのおかずがあることも忘れてしまうほど美味しく、あの暗い家の中でも、月の光より明るく輝いて見えました。

お別れ当日は昼食がとても賑やかで、式典と食事の合間には福岡県庁の代表と子どもたちがプレゼントを交換しました。式典の後、グローバルアリーナでは大学の学生との交流があり、日本のパーティーで行われているゲームの披露もありました。空気銃のゲームもあり、空気銃の射撃ゲームで勝てば賞品も用意してありました。

翌朝、私たちは日本に別れを告げました。大変な疲労で、私は旅行中ほとんど寝ていました。疲れ果てて家へ到着しましたが、喜びと任務を果たした達成感でいっぱいでした。



トメアスー福岡県人会
稲田 樋口 ナージャ 美穂
Inada Higuchi Nadia Miho

こんにちは。私はブラジルにあるトメアスー福岡県人会の稲田美穂と申します。2012年に県費留学生として福岡県を訪れました。そして、今回2023年にこの招へい事業に参加することができました。過去の色々な記憶がよみがえり、懐かしい気持ちとともに、新たなメンバーでの新たな経験ができたことを大変うれしく思っています。

プログラムの中で、スペース LABO・プラネタリウム・アウトレット北九州・太宰府・小学校などたくさんの場所や施設を訪れました。どこに行ってもとてもきれいでごみ一つ落ちていませんでした。そして電車やバスは時刻表通りに動いていました。私が日本で感じたのは【清潔さと正確さ】であり、このことを自国の子どもたちにも伝えようと思っています。

那珂小学校では、ブラジルについて発表をさせていただきました。その後、日本の生徒さんは日本の文化・料理・スポーツについて紹介、発表をしてくれ、クイズもありました。日本の生徒さんたちの発表はダイナミックで楽しくあっという間に時間が過ぎてしまいました。日本について、私ももっと学ぶことが共にできたことをうれしく思います。

ホームステイ期間中には、ホームステイ先のご家族の協力があり、現在日本に住んでいる兄に6年ぶりに会うことができ、初めて甥っ子たちにも会うことができました。一緒にバーベキューや水族館に行くことができ楽しい時間を過ごすことができました。お金では買えない貴重な時間を過ごすことができました。

この12日間、福岡県人会のみなさん、子弟のみなさん、青年リーダーのみなさん、国際交流センターのみなさん、留学生のみなさん、ホームステイ先のみなさん、そして親切な家族会のみなさん、福岡県のみなさんのお陰で、私は素晴らしい経験をすることができました。本当にありがとうございました。心より感謝しております。

福岡で経験したことを活かし、ブラジルトメアスーと福岡県との交流に今後も役立てるように頑張っていくつもりです。また、私の娘はまだ3歳ですが、将来この招へい事業に参加できるよう願っております。本当にありがとうございました。



コロンビア福岡県人会

板橋 マリア エミ

Itabashi Maria Emy

このプログラムは、私のルーツ、祖母の方言、新しい友人、そして家族の思い出のような県に再びつながったことを感じさせてくれました。福岡のことはずっと耳にしていたのですが、実際に行ったことはなかったので、夢が叶ったようでした。福岡に着いて、空気や匂いを感じ、人々について知ろうとしました。空港で国旗や親戚の姿を見るのはとても嬉しかったです。最初は雨が降っていて、プログラムの一部が変更になりましたが、そのおかげで GA、森、陸上競技場、レストラン、部屋を楽しむことができました。また、このスケジュールの変更により、私たちはお互いを知り、他の日系人より多くの時間を共有し、親睦を深めることができました。

一日目の歓迎会の食事はとても美味しかったです。また、子供たちは浴衣を着ていて、とてもかわいかったです。雨が降っていたので、Zoom で小学生と交流しました。子弟の子供たちや福岡の小学生と遊ぶのは本当に楽しいです。私たちはたくさんの素晴らしい場所を訪れました。最初の場所はプラネタリウムとサイエンスラボでした。天井の星空は美しかったです。そしてサイエンスラボでは、科学は簡単だと思わせてくれました。電車にも乗って、駅に行く体験もしました。小倉城に行き、庭園も見ました。福岡の歴史をやさしい説明で聞き、福岡の精神を学ぶ機会となりました。子供たちがアプリを作るラボにも行きました。子供たちはコンピューターを使い、アプリでアニメーションを作りました。小学校に行って、サラがコロンビアのものを見せました。学校の子供たちはとても嬉しそうで、興奮していました。私たちはまた、大きな寺院を訪れました。とても短い時間だったので、あっという間に見てしまいました。

その後、一日中別の学校に行き、日本の学校の日を体験しました。私たちは子供たちと分かち合い、遊び、食事をし、教室の掃除をしました。子供たちは私たちにとっても優しく接してくれました。この後、私たちはらぼ一とに行きました。正直なところ、私はとても疲れていたもので、座って抹茶を飲み、この場所を楽しみました。地震センターと火災センターも訪れ、地震と火災が起きたときにどう行動すべきかを学びました。火災の場合は火の消し方、地震の場合は安全な行動について学びました。両方のケースで何をすべきかを学べたのはよかったです。また、山笠祭りにも行き、赤ちゃん、子供、おじいちゃんが一生懸命に山車を押す姿を見ました。福岡タワーにも行き、そこでは、どの方角から見ても福岡の街の大きさと豪華さを堪能することができました。

最も魅力的な体験は茶畑とうちわ作りでした。まるでタイムスリップしたかのようで、手作りの手工芸品を見ることができたと、とんかつもおいしかったです。最後の3日間は倉富家の親戚の家に泊まりました。彼らはとても特別で、私たちの両親のようでした。日本の伝統料理をたくさん食べ、水族館にも行きました。福岡での最後の日には zoom で会った子供たちと対面で遊びました。この経験によって福岡がいかに素敵で魅力的であるかということを体験しましたが、一番重要なのは、おもてなしと寛大さが素晴らしい県を作り上げているということです。



シアトル・タコマ福岡県人会
スナイダー アンドリュウ 涼
Snyder Andrew Ryo

南加県人会の川田蔵之助君のサポーターとして国際交流プログラムに参加する機会をいただき、ありがとうございました！日本の文化や伝統に若者をサポートすることができて、とても素晴らしかったです。私たちはたくさん名所を訪れ、また数日間は同じ年齢の小学生たちと過ごしました。日本の小学生の日常生活を体験し、それを私たちがアメリカで経験する生活と比較する機会を持てたことは、目を見張る体験でした。蔵之助君は、給食の準備方法や遊び方の違い、そして「お掃除」の時間について学ぶことができました。

さらに、寺や神社などの観光地を訪れ、私が蔵之助君に適切に祈る方法を示すことが楽しかったです。彼はたくさん学びました。日本のアウトレットモールに行くだけでも全く異なる体験でした。

福岡タワーや八女市の茶園、扇子の製造など、他の名所も訪れました。私たちが最も良いと感じた体験の一つは、福岡市中心部の地震訓練センターを訪れ、災害への対応方法や熊本地震を含む九州諸島の歴史を学ぶことでした。さらに、彼はマグニチュード6.0の地震がどのようなものかを示す地震部屋で参加することができました。すべてのイベントを通じて、最も重要な教訓は、福岡の日本文化に没頭し、再び地元のコミュニティに戻ってきたような感覚を実際に体験することができたことだと思います。

イベントの上に、ブラジル、パラグアイ、ペルー、トマース、メキシコを含む多くの国からの参加者で構成されるグループの一部でもありました。

私たちが楽しんだすべてを数段落で説明するのは難しいです、それは一冊の本が必要でしょう。これは私たちが日本で訪れた場所のリストです！

- ・宗像市内小学生との交流
- ・スペース LABO 見学
- ・ジ・アウトレット北九州見学
- ・小倉城見学
- ・太宰府天満宮見学
- ・テックパーク（プログラミング経験）
- ・南郷小学校との交流
- ・ドン・キホーテ視察
- ・ららぽーと見学
- ・福岡タワー見学
- ・福岡市民防災センター体験
- ・祇園山笠集団山見せ見学
- ・うちわ作り体験
- ・大茶園見学
- ・ホームステイ3日間

また、この県人会担い手育成招へい事業において福岡県国際交流センターとカリフォルニア州の南加県人会との間で調整を行ったクリスティーナ・スウェドナーさんに感謝を伝えたいです！彼女がいなければ、私たちは参加することができなかつたです。旅行を成功させるためには、多くの書類作成と会話が必要でした！

Thank you! お世話になりました、ありがとうございました。



ペルー福岡県人会
竹下 ケニー
Takeshita Kenny

このプログラムに 2 週間参加したことで、とても良い経験をすることができました。他の国の子どもたちやそのリーダーたちと出会い、経験を交換することができました。日本の子どもたちの習慣を学校で見るのは面白かったですし、福岡の子どもたちがどのように教育しているかを見るのも面白かったです。日本語や福岡の人々の文化や経験をもう少し知ることができました。

知事との会談は中止になり、残念でした。幸いにも後任として実施できる活動があり、子どもたちにとって非常に興味深いものがありました。

このプログラムや県が主催する活動は、自分のルーツとの絆を強め、福岡とのつながりを深めていると思います。子供にとってもリーダーにとっても、とても有益なプログラムだと思います。

これらの経験が子どもたちに大きなインパクトを与え、将来も福岡が提供している他のプログラムに参加し、県人会で貢献し続けることを願っています。



パラグアイ福岡県人会
北川 彩
Kitagawa Sayaka

福岡へ訪問する機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。2週間、皆さんに大変お世話になりました。

このプログラムを通して、日本文化や祖父母の故郷である福岡県を知るという素晴らしい経験をしました。パラグアイの子供達も、他の国の子弟達や福岡県の小学生たちと出会って仲良くなれたこと、遊べたことは楽しく忘れられない思い出になったと思います。みんな十分福岡を楽しみました。

このような機会を与えて下さり、本当にありがとうございました。

参加者レポート

福岡県移住者子弟
県費留学生



ブラジル福岡県人会
渋谷 フェルナンダ えりか
Shibuya Fernanda Erika

県内を散策するのが本当に楽しかったです。そして、ブラジルから来た他の子弟と一緒にプログラムを行うことができたことで、さらに旅行を楽しむことができました。

いくつかの場所を楽しむ時間があまりなかったのが残念です。しかし、私たちにとって、たくさんの場所に行き、たくさんの人々と交流する素晴らしい機会でした。ブラジルから、福岡について知りたいと興味を持っている子どもたちがたくさんいることを嬉しく思います。

ブラジルの他の州出身の子弟と会うのは本当に楽しかったです。日本についてもっと学ぶ素晴らしい機会だと思いました。



パラグアイ福岡県人会
淵脇 健
Fuchiwaki Kenzo

今回の担い手育成招へい事業はやっと元々コロナの前の7月に戻りました。今年はパラグアイ、ペルー、ブラジル、アメリカ、コロンビアの福岡県人会からの代表が来られました。初めて会ったパラグアイからの子供達とリーダーに会うことがちょっと緊張していた上に、パラグアイの代表が乗っていた飛行機が遅れて、迎えに行く時間がずれて待っていた間に色々考えていました。一日目は、子供たちがちょっとまだはずかしくてあんまり話していなかったけど、二日目からはもっとスムーズになったことが気づいて驚きました。

福岡県の小学生たちと交流できたことはとてもよかったと思います。同じ日本語や、英語、スペイン語、またはポルトガル語を話せなくても、コミュニケーションが取れることが大人の僕もすごいと思っていました。

福岡の色々な経験や色々な場所に遊びに行ったり色々学んだりすることができました。また、福岡の伝統的な祇園山笠祭りもちょうど同じタイミングでして、北九州市の小倉城、太宰府市の太宰府天満宮、太宰府のおもちや福岡の明太子、八女市のお茶、とかで色々な経験ができました。子供たちも青年リーダーの方も結構喜んでいました。

令和5年の県費留学生として、元県費の青年リーダーも今年来られたことが特に僕は喜びました。皆で色々な県費として過ごした経験の会話をして楽しかったです。

一番喜んだ出来事は、やっぱり子供たちが最後の日悲しくて、皆で仲良く遊んでいたことです。三人か四人は大きくなったら県費留学生としてまた福岡に来たいって言っていました。

皆さん、この2週間お疲れ様でした！またどこかで会いましょう！



パラグアイ福岡県人会
熊谷 山本 マルガリタ 春花
Kumagai Yamamoto Margarita Haruka

今年の子弟招へい事業では5カ国から10名の子弟、6名の引率者と6名の留学生が加わり、とても貴重な経験を過ごすことが出来ました。7月は雨が多いと聞いていたので少し心配でしたが、無事プログラムを終えることが出来ました。太宰府天満宮、小倉城、プログラミング、ららぽーと、プラネタリウムや福岡タワーなど福岡の観光を満喫出来て、歴史や文化を皆と一緒に学ぶことが出来ました。

又、那珂小学校で母国についての紹介の準備と発表の時は、子供達の真剣な顔と一生懸命慣れない日本語を書いて話している姿を見て感動しました。そこでは、折り紙、けん玉、だるま落としや習字などを準備してくださり、初めは緊張していた子供達もだんだん打ち解けて最後は皆で美味しい給食もいただきました。

家族と離れて過ごす12日間は子供たちにとっても凄くいい経験になったと思います。同じ福岡県にルーツを持つ人達との出会いを大切に、いつかまたみんな留学生として来る事を願っています。

子供達と一緒に過ごした12日間はとても長いようで短かったです。沢山思い出も作ってお話もいっぱいできたので、またいつか皆さんにお会いできることを楽しみにしています。お疲れさまでした！



アルゼンチン福岡県人会
津留 ミカエラ
Tsuru Micaela

7日に子弟招へいの事業が始まり、ブラジル、パラグアイ、ペルー、コロンビアとアメリカから11歳の子供たちとリーダーが来て、1週間ほどみんなは宗像にあるグローバルアリーナという所に泊まりました。県費留学生もサポートとして参加させていただきました。

私は2019年の子弟招へい事業の時に青年リーダーとして参加していたので、久しぶりにグローバルアリーナに行って、たくさんの素敵な思い出が蘇りました。

最初は子供たちが仲良くやっていたかどうかがちょっと心配してたけど、みんな毎日遊んだり、話したり、安心しました。

今回子供たちは小学校に行って、同じ年の子供と交流し、自分の国を紹介し、いろいろなゲームをしました(けん玉、お手玉、折り紙など)それで、さまざまな場所を訪れ、小学校、小倉城、太宰府、プラネタリウムやららぽーとへ行って、みんなといい思い出を作ることができて、とても嬉しかったです。

また、自分たちのルーツを学ぶためこのプログラムに参加したので、県費留学生とか青年リーダーとかまた日本に来たいと言ってくれる子供がいて、とても嬉しいです！

この12日間はあっという間に過ぎましたが、とてもいい楽しい経験だと思います。



メキシコ福岡県人会
田中 ゴメズ 愛子
Tanaka Gomez Aiko

7/7-7/18のプログラムはとても楽しい経験でした。12日間さまざまな国の子供たちとリーダーのみなさんと会話したり遊んだりできてとても楽しくていい時間を過ごすことができました。このプログラムの中で県費留学生として福岡の文化や色々のこと勉強になりました。

沢山綺麗な所に連れて行ってもらって日本のことを楽しむことができました。太宰府や福岡タワーや八女茶畑など行ってそれぞれの場所についていい経験ができました。こういうプログラムで福岡にあるルーツのことをもっと興味があるようにできると思います。私は11歳の頃、同じプログラムに参加させていただいてやっぱり日本についてもっと知りたくて、日本語や日本の文化について勉強して今回は県費として福岡に来ました。また、今回子弟招聘に県費留学生として参加するのはとてもいい経験になりました。別の視点からその経験を生かすことができました。

毎日の活動はとても楽しくて日本の文化についてもっと知りたくなりました。

このプログラムに参加させていただいてありがとうございました。



ペルー福岡県人会
手嶋 儀武 さゆり ナンシー
Teshima Guibu Sayuri Nancy

招へいプログラムはとてもいい経験になりました。7月7日から18日まで、色々な国の子供やリーダーと色々な活動に参加することができました。今回はブラジル、コロンビア、南加、ペルー、パラグアイから子供たちが参加しました。最初、子供たちは皆とあまり話さなかったですが、活動のおかげで少しずつ仲良くなっていました。参加された皆さんにとっても忘れられない経験になったと思います。

プログラムでは色々な場所に行きました。スペース LABO、小倉城、福岡タワー、太宰府天満宮、八女市などに行きました。八女市でうちわ作り経験はとても楽しかったです。また、日本の小学校を知ることができてとても良かったです。小学生たちと遊んだり、昼ご飯を食べたり、掃除もしました。その日は日本の教育について少し学ぶことができました。私たちの国についても少し話すことができました。文化交流ができてとてもいい経験になりました。

大雨の影響でプログラムが変更になりましたが、全ての活動を行うことができて良かったです。時間が短くてとても忙しかったですが、とても楽しかったです。

このプログラムでは、子どもたちが自分たちのルーツである福岡や日本文化について学ぶことができると思います。また、色々な国の友達ができ、いい人生経験を積むことができます。

2023.7.7~18

**Short Term Visit Program for
Young Descendants of Immigrants
from Fukuoka Prefecture**